

【前題材】中2 5~6月 表現・鑑賞
「MODERN KAKEJIKU~自分の理想の姿~」

自分の現状を見つめ直し、自分の理想を主題とし、釧路市立美術館所蔵の掛け軸を鑑賞して、掛け軸で表現された余白に着目しながら、縦長の画面に構図を考え表現する。(教室内に掲示中)

【育てたい資質・能力】

- 自身の考えを形や色に置き換えて考えていくことや靴という形態に合わせて紙を加工したり、表現方法を工夫して創造的に表すこと
- 造形的な視点を持ち、主題やイメージに合わせて意図を明確にした上で、他者との関わりから自己の見方や感じ方を深め、表現の工夫について構想を練る
- 自分自身を見つめ直し、これからの生活に一步刻むための主題を生み出しながら、主体的に取り組む態度

【見方・考え方】

自分の主題を表すために形や色でどのように表現していくことが最適であるかを他者との関わりから明確にして対象を捉える見方を拡充していく。また、自分の夢や希望を含んだ感情と美術との関わりについて考えを深める。

【材料】

- 巻き段ボール 段ボール
- クラフト紙 紙紐
- アクリルガッシュ 木工ボンド
- メディアグテープ 糊棒

【鑑賞のために使用する教具】

- 先生方の靴 自分の靴
- 靴職人への取材した映像
- 靴職人から子供宛の手紙

【本題材】

「一步を踏み出す靴」

子どもがこれからの自分自身の夢や挑戦したいことに一步踏み出す勇気を与える靴をつくる。靴は、足を守り環境に適応しながら快適に暮らすためのひとつの道具である。自分の主題(テーマ)を形や色に置き換え表現することを通し、場面や時間を想起しながらどのような場面で一步踏み出していく靴なのかを構想する中で、自分自身を見つめていく活動としていく。

【関連する題材】

「自分の時間結晶の形」

中3 10月 表現

手に握ることができる自分の中学校生活を凝縮した形を生み出す。どのような3年間だったのか主題を生み出し、立体に表現する。

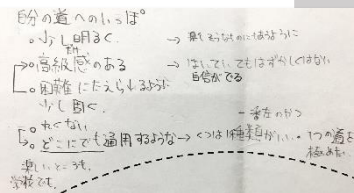
【関連する題材】

「Answer Art」

中3 6月表現・鑑賞

鑑賞した作品に対して返答作品を制作する。その際返答したい主題を生み出し、様々な素材を使い、創造的に表していく。

主題



構想



手立て②

他者とのつながり

自分の靴の形を制作する過程の中で、どのような形・色にすることで自分の想いが反映されていくのかを検討する場面において、他者の見方を知ることにより、共通することや相違点について発見し再考する場面に活かしていく。

手立て③

想いをつなぐ×「試行」

表現したいことに合わせて素材を選び、形を工夫していくために、素材の加工を試行する。自分の考えを最も表すことのできる靴の形や色は、どのようなものか。様々な靴の形態を鑑賞し、その形や色に自分の想いを込めるための想いを膨らませていく。

【次題材】中2 9月 表現

「光を美しく透かすランプシェード」

自分の暮らしを華やかに演出する光を美しく透かすランプシェードのデザインをする。実際に、釧路市民の皆さんに見てもらい発表を予定している。



